

アニマルランド NEWS

かのう

和の森わんぱーくこうちアニマルランド

No107 Apr 2025



みどしじゃ〜

- ・ 干支展「巳年蛇〜」
- ・ エンリッチメント大賞2024で「奨励賞」を受賞しました
- ・ 出前授業・社会見学について「まずはご連絡ください」

10月から3月

- 10/1 ふれあい広場開始
- 10/6 カイウサギ「コルト」展示開始
- 10/20 第23回いきもの講座開催
慰霊祭開催
- 10/29 ニホンカモシカ「サチコ」来園
- 11/1 鳥インフルエンザ感染対策のため
バードハウス閉鎖、傷病野鳥の保護受け入れ中止
- 11/18 ホンドタヌキ「ポタコ」展示開始
- 11/22 「Amazonほしい物リスト」受付開始
- 11/24 「国際ジャガーの日」3園館合同イベント開催
- 12/14 干支引継ぎ式開催(@桂浜水族館)
- 12/19~1/28 干支展「巳年蛇〜(みどしじゃ〜)」開催
- 1/30~ 動物紹介「知ってる！？ホンドテン」開始
- 3/29 スマトラトラ「アバディ」来園

カイウサギ♀「コルト」



ふれあい広場に仲間入りしました。

いきもの講座



「動物キャラを描こう！紙で動物を作ろう☆」のテーマで高知漫画グループくじらの会の橋村先生にお越しいただきました。

ニホンカモシカ♀「サチコ」



神戸市立森林植物園から帰ってきました。

ホンドタヌキ♀「ポタコ」



新しく仲間入りしました。怖がりですが、とてもおっとりした性格です。

Amazonほしい物リスト



新たな寄付制度として、「Amazonほしいものリスト」を活用することになりました。

のできごと

国際ジャガーの日



配信日: 2024年11月24日(日)
配信時間: 13:30 ~
Facebook 沖縄こどもの国公式アカウントにて
配信します! @okinawakodomonokuni
※視聴には Facebook アカウントの登録が必要です。

2024年にジャガーが生まれた3園館合同
でLIVE配信を行いました。

干支引継ぎ式



桂浜水族館で干支引継ぎ式を行いました。

干支展



今年の干支「ヘビ」についてのパネル解説
や生体展示などを行いました。

ベストポスター賞



第72回動物園技術者研究会で、
クロシロエリマキキツネザルの
闘争抑制の取り組みについての
研究発表で受賞しました。

動物紹介

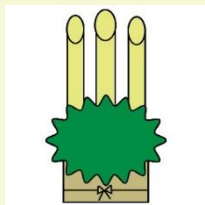


ホンドテンの特徴や、当園飼育個体
の紹介をしました。

動物園水族館大学シンポジウム

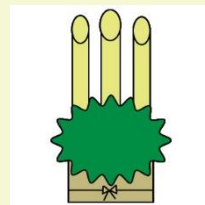


「南海トラフ巨大地震から動物たちを守るために
~これまでとこれから~」をテーマに発表しました。



みどしじゃ～

干支展 「巳年蛇～」



2025年の干支は「巳」ヘビです。^{かのう}和の森わんぱくこうちアニマルランドでは、ヘビの生態や豆知識などのパネル展示や、生体の展示を行いました。大変盛り上がり、多くの方に楽しんでもらえたようでとてもうれしかったです。

当園では、高知県にも生息し、なじみ深いアオダイショウやシマヘビ、シマヘビの黒化型であるカラスヘビ、マムシを飼育しています。ほかにもアフリカ大陸の中部～西部に生息し、ペットとして大変人気のあるボールニシキヘビもいます。

ボールニシキヘビは「たまちゃん」という愛称ですが、オスです。たまちゃんは、ペットだったのが捨てられて、当園にやってきました。最初は小さく、かわいいと思って飼育を始める方も多いと思います。しかし、体長は約1～2mほどになり、長生きします。飼われる方はそのことを覚悟の上で最後まで責任をもって飼育してほしいと思います。たまちゃんは、夏場はアニマルギャラリーに入ってすぐの屋内展示場で見るができます。冬場はバックヤードの暖かいところで過ごしているので見るできません。タイミングが良ければ、ワンポイントガイドで外に出てきているかもしれません。

高知県には当園で飼育している種類以外に、ヤマカガシやヒバカリ、ジムグリ、シロマダラ、タカチホヘビが生息しています。シロマダラやタカチホヘビは見たことない人が多いのではないのでしょうか。この2種類のヘビは、高知県でも発見例はありますが、夜行性なので見かける機会が少ないです。見つけた人はラッキーですね。シロマダラは主にトカゲやヤモリを主食にしています。タカチホヘビは、ミミズを主食にしており、どちらも飼育するのが大変な種類です。



アオダイショウ



シマヘビ



タカチホヘビ



ジムグリ



マムシ



ヤマカガシ



シロマダラ



ヒバカリ



ボールニシキヘビ



ボールニシキヘビのレントゲン写真

高知県ではマムシとヤマカガシのみ毒を持っています。しかし、ヘビの方から攻撃してくることはほとんどありません。ヘビに噛まれる主な原因としては存在に気付かずに踏みつけたり、興味本位で近づいたりすることがほとんどです。真っ黒な個体や色変わりしている個体もあります。見分けるのが難しい方もあると思いますので、ヘビを見つけても近づいて触ったり、捕まえたりしないようにしましょう。山や茂みに入る際は長靴を履くことも忘れないようにしましょう。もし、毒ヘビに噛まれた場合は、傷より心臓に近い側を軽く縛り、できるだけ患部を動かさず、すぐに病院へ行きましょうニホンマムシに噛まれて死亡する例は1%以下です。また、ヤマカガシの毒腺はのどの奥にあるため、噛まれても毒液が注入されることはまれです。あわてずに、病院へ行きましょう。

今回の干支展でヘビについて紹介しましたが、たくさんの魅力を感じてもらえたのではないのでしょうか。ヘビは、多くの文化や伝統において興味深い存在です。神秘的で象徴的な意味も持ち、さまざまな神話や伝説に登場します。この魅力的な生き物についてぜひ調べてみてください。

来年はウマ年です。干支展をお楽しみに～。

(伊藤 秀都)

エンリッチメント大賞2024で 「奨励賞」を受賞しました

エンリッチメント大賞とは、動物の福祉向上を目的とした「エンリッチメント（動物の生活環境を豊かにする取り組み）」に貢献した個人や団体を表彰する賞です。動物園や水族館、研究者などが対象となり、動物の健康や行動の多様性を促進する優れた取り組みが評価されます。

今回「こじゃんと取り組む！エンリッチメント」と題した、サーバル舎とニホンアナグマ舎での取り組みが受賞しました。SPIDERモデルに従ってしっかり動物の行動を評価していたこと、来園者からの意見を取り入れ、複数の職員が動物たちの福祉改善に地道に取り組んだことが評価されました。

両種とも、野生下の行動をひき出すこと、常同行動の減少を目的として行いました。基本的には、構造エンリッチメント→感覚エンリッチメント→採食エンリッチメントの順に沿って行い、毎日飼育員が観察して行動評価を記録しました。まず一面ほぼコンクリートの展示場に土や草を入れることから始めました。夏場の改修作業で、すべて担当者の手作業だったため、汗だくで筋肉痛が辛い日が続きましたが、動物のためならしんどいと思うことは全くありませんでした。他にもサーバルの特徴であるジャンプ力の高さを引き出したり、聴覚の良さを引き出すためにスマートフォンを土に埋めアラームを鳴らしたりと、25種類のエンリッチメントを導入し、その都度評価をしました。すごいジャンプが見られるだろうと思い、天井から釣り糸で肉を吊るしたのですが、採食エンリッチメントを始めた当初（10月）はほとんどジャンプしてくれませんでした。しかし2月に入り跳ぶ気になったのか、2mくらいのカッコいいジャンプを見せてくれるようになりました。

サーバルの行動面の変化としては、常同行動が43%から13%になり、巡回・探索行動が30%も増加し、展示場で草を食べることができるようになったので、便状もよくなりました。

ニホンアナグマでは、穴掘りが大好きな動物なので、土をたくさん入れたり、野生では当たり前にある木やツタを入れてみたりしました。おまんじゅうみたいな体型をしていますが、案外ツタを登ったりすることができるといった発見もありました。また、野生下では暑いときは水溜まりで涼をとることができます。飼育下でも再現したいと思いモート部分だったところに浅いプールを作りました。夏の暑い日は毎日プールに入り涼む姿が見られるようになり、野生下の行動を少しでも引き出すことができたと思います。ニホンアナグマでは、行動レパトリーが増加し、常同行動がなくなりました。

今回は2種類の動物での受賞となりましたが、アニマルランドでは様々な動物たちにエンリッチメントを導入し、その効果を検証しています。これからも動物たちのために、今の施設で今できることを精一杯頑張っていきたいと思っています。

（門谷 真奈）



サーバル



ニホンアナグマ



奨励賞

出前授業・社会見学について

当園の行っている出前授業・社会見学を、ご利用いただきありがとうございます。

改めて当園の行っている教育普及活動の一つである出前授業・社会見学について解説します。

かねてより環境に関するイベントや、各種実習の受け入れ、職場体験など、多くの機会にアニマルランドが活用されています。さらに動物園の役割としての「環境教育」の充実を図るため、出前授業・社会見学を平成18年より本格的に開始しています。

動物園の役割である「環境教育」とは、多種多様な動物への理解を深め、動物を通じての現在の環境への理解を深める窓口となるものです。開始当初は高知市および近隣市町村の学校を中心に活動し、「飼育員が解説する生きた学習」をスローガンとして、学校関係者への周知をめざし進めていました。しかし、思いのほか申し込みは少なく、「環境教育」は園内の掲示物やイベントでの対応がほとんどでした。その後地球環境の変化に伴い、小学校の教科書の中で野生動物についてふれられることが増え、総合学習や動物関連の単元について詳しく知る場として、申込みいただくようになりました。

動物園を取り囲む状況も変化し、今は「生涯学習の場」としての役割も求められるようになりました。動物園の教育機関としての位置づけが高くなり、さらなる拡充が必要となりました。今後、解説メニュー改良および新メニューの作成、受け入れ態勢の強化などを進めていきますので、今後ともよろしく願いいたします。

最後に、皆様にご好評いただいている「出前授業・社会見学」について、改めて申し込み時の注意点についてお知らせします。

「まずはご連絡ください」

注意点

- ・開催日の40日前には申込みください

動物園の飼育業務が最優先のため、受け入れ困難な場合があることをご了承ください。

- ・受け入れ確定の連絡について

申込みいただいた後、受け入れ確定の連絡にお時間をいただく場合があります。

- ・内容については双方の話し合いで決定させていただきます。

ホームページでは現在14項目の解説メニューを表示していますが、表示している以外の内容でも対応が可能なものもあります。

具体的な講義内容の希望がありましたら、ぜひご相談ください。

ちなみに、人気メニューの一つである「動物たちのカモフラージュ」は、小学校の先生から問い合わせがあり作った解説メニューです。

- ・鳥インフルエンザ発生時期は、獣舎や調理棟などの裏側の見学はできません。

(山崎 博継)





晴天の春分の日。
写真撮影スポット前でキャッチ☆

左から

山本 洸太さん(26)

愛菜さん(1)

波留奈さん(26)

高知市からのご来園です。
動物との距離が近く、種類も多い印象だと教えてくれました。
愛菜さんが誕生してから遊びに来てくれているそうで、気軽に来られるところが良いとコメントをいただきました。

4月から9月のイベントとお知らせ

開催中～4月6日(日)
わんぱくこうちまつり
(チューリップ等の展示期間)

4月6日(日)
アニマルランドクイズ大会

4月29日(火)
カブトムシの飼い方教室

4月2日(水)、8月13日(水)
臨時開園

中止や延期がある場合があります。
ホームページ、X、園内掲示などでお知らせします。

7月開催予定
カブトムシすもう大会

7月開催予定
夏の企画展

9月開催予定
動物紹介

9月15日(月)
敬老の日イベント

日・祝 14:30～
ワンポイントガイド
動物の解説を飼育スタッフがおこないます

詳しい日程等は、決まり次第
ホームページ、Xにてお知らせ
します。

ふれあい広場開放時間

・10:30～12:00

・13:00～14:30

※ 7月～9月は、動物が暑さで弱ってしまうため
お休みしています

動物たちのエサの時間

キツネザル	10:30～
リクガメ	10:30～
チンパンジー	13:30～
フラミンゴ	14:00～
オオサンショウウオ	毎週土曜日 15:15～
アフリカコガタワニ	毎週日曜日 15:15～

表紙「ニホンカモシカのアヤ」

2025年4月1日発行

発行・和の森わんぱくこうちアニマルランド

〒781-8010 高知市棧橋通6-9-1

TEL088-832-0189 FAX088-834-0929

Eメール kc-171204@city.kochi.lg.jp

編集 山本将充

<http://www.city.kochi.kochi.jp/deeps/17/1712/animal/>

アニマルランドニュース 4,10月の年2回発行

ホームページでも配信中

わんぱくこうちアニマルランド

検索